



2020年5月15日

各 位

会社名 FRACTALE株式会社  
代表者名 代表取締役社長 堀江 聡寧  
(コード番号 3750 東証第二部)  
問合せ先 経営企画部長 関本 秀貴  
(TEL. 03-5501-4100)

## 通期連結業績予想値と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月14日に公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、2020年3月期の期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想値と実績値の差異について

##### (1) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月14日発表)	百万円 2,800	百万円 440	百万円 390	百万円 380	円 銭 56.61
今回実績(B)	1,180	△129	△185	319	47.58
増減額(B-A)	△1,619	△569	△575	△60	—
増減率(%)	△57.8%	—	—	△16.0%	—
(ご参考) 前期実績(2019年3月期)	1,924	293	204	592	88.30

##### (2) 修正の理由

2020年3月期の通期連結業績におきまして、販売用不動産の早期売却に向けた営業活動を行ってまいりましたが、当初想定していた仕入を実績が下回ったことに加え、保有販売用不動産の販売促進の販売区画見直しを行ったものの計画通りに販売が進まなかったため、前回発表予想から売上高が2,290百万円ほど下回りました。不動産販売事業から成長性の高い事業へのシフトを図り、医療機器の製造・販売を行うサイトリ・セラピューティクス株式会社とホテル金沢株式会社を連結子会社化しましたが、サイトリ・セラピューティクス株式会社についてはまだ売上規模が小さく、ホテル金沢株式会社については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により本年3月から宿泊売上と宴会売上の急激な減少が見られ、連結売上高への貢献は670百万円にとどまった結果、売上高は前回発表予想から1,619百万円下回る1,180百万円となりました。営業利益につきましては、不動産販売事業の売上減少に伴う減益分が440百万円、サイトリ・セラピューティクス株式会社の営業損失を120百万円ほど計上したことにより前回発表予想より569百万円下回る営業損失129百万円となりました。経常利益についても営業利益と同じ理由で575百万円下回る経常損失185百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、保有不動産の手付金の違約金収入495百万円を計上したため、前回発表予想を60百万円下回る319百万円となりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 配当予想の修正内容

	一株当たりの配当金		
	第二四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月14日発表)	0円	20円00銭	20円00銭
今回修正予想	0円	10円00銭	10円00銭
当期実績	0円		
前期実績 (2019年3月期)	0円	20円00銭	20円00銭

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への適切な利益還元と財務体質の強化並びに当社およびグループ各社の新規事業展開に必要な内部留保の確保を、それぞれ最重要課題と認識しており、新規事業の状況、業績の伸長、経営環境等を総合的に勘案し、安定した配当を行い、これを持続させることを基本方針としております。当期の期末配当予想につきましては、2020年3月期の通期連結業績における親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想よりも下回ったこと、並びにサイトリ・セラピューティクス株式会社を中心とした事業への成長資金の内部留保を優先することとし、誠に遺憾ではありますが、前回発表予想から10円00銭減配の1株あたり10円00銭といたしました。

以上